

第3回町田市スポーツ推進審議会 議事要旨

日時 2023年10月31日(火) 18:30~20:00

場所 町田市役所 10階 10-2会議室

出席者

川崎 登志喜	委員(会長)	玉川大学教育学部 教授
宮崎 光次	委員(職務代理)	桜美林大学健康福祉学群 教授
西井 義昭	委員	一般財団法人 町田市体育協会 副会長
小川 由起子	委員	町田市スポーツ推進委員
渋谷 俊彦	委員	町田商工会議所 青年部会長
江口 寛征	委員	社会福祉法人合掌苑 特別養護老人ホーム合掌苑桂寮施設長
小八重 眞弓	委員	市民委員

欠席者

永吉 英記	委員	国土舘大学体育学部 教授
水野 洋子	委員	NPO 法人スポーツ塾 J.VIC 理事長
川口 圭介	委員	市民委員
薄井 忍	委員	南中学校校長

事務局

文化スポーツ振興部スポーツ振興課長 高梨 光之
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長 荒木 康伸
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長 地寄 一敏
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長 須田 恵美子
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長 十河 真広
文化スポーツ振興部スポーツ振興課主任 積 さゆり

傍聴者

0名

議事

1. 開会

2. 議事

(1) 後期アクションプラン(2024年～2028年度)策定に向けた方向性の整理、及び検討案の確認

(2) 意見交換

3. 事務局から

4. 閉会

<資料>

資料1 後期アクションプラン(2024年～2028年度)策定に向けた方向性の整理

資料2 後期アクションプラン(2024年～2028年度)検討案

議事要旨

1. 開会

2. 議事

(1) 後期アクションプラン(2024年～2028年度)策定に向けた方向性の整理、及び検討案の確認

(2) 意見交換

事務局より配布資料について説明を行った。

川崎会長 基本目標1(1)子どものスポーツ推進について、何かご意見はあるか。

小川委員 資料2の整理番号1-1-1の「まちとも」等との連携した放課後のスポーツ推進に留まらず、スポーツ推進委員が多くの取組みで主体となっているので働きかけていきたい。小学校低学年時には鬼ごっこなど遊びから入れるようなものを、小学校高学年時に競技性のあるスポーツに関心を持ってもらい中学校で本格的に取り組むなどできるとよい。また、「まちとも」等による放課後のスポーツ推進では地域スポーツクラブとも連携していけたらよい。

会長 現状値は3地区とあるが、地区は全部で何地区あるのか。

事務局 地区協議会全10地区に対して現状は3地区となっている。まちともとの連携は受入れ側の方針からコロナ禍で伸び悩んでいた。後期アクションプランで施策を推進していく。

会長 スポーツマップは配り終えて新たに取り組むということか。

事務局 配布は完了している。審議会での意見をふまえてブラッシュアップしたものを改めて配布していくことを想定している。

会長 資料2の整理番号1-1-3の数は減っているが、学校の統廃合の兼ね合いか。

事務局 そうである。市内全校実施は変わらない。

会長 基本目標1(2)働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進について意見はあるか。

渋谷委員 ボランティアだけでなく、仕組みとして市内の企業を巻き込んでいく必要がある。企業も地域社会に貢献していく意識がある。具体的には経済団体に協力を仰ぎ、経済界として企業価値の向上につながる取組みを行っていくとよいと考えている。公式に経済団体

と連携した取組みを実施できるとよい。

後期アクションプラン案で言うと、整理番号1-2-1では、商工会議所内の数値目標として〇社と設定することもできるし、整理番号1-2-2では、企業のホームページやSNSと連携すれば、より波及効果が得られると考える。

会長 町田市独自の施策も検討できるとよいだろう。

西井委員 「すぽ一つ祭まちだ」は12月12日に成瀬の総合体育館で実施する。様々なスポーツに触れる機会になるので参加者を増やす取組みができるとよい。

会長 「すぽ一つ祭まちだ」の現状の参加人数規模は？

西井委員 2700人である。

会長 今後増やしていけるとよい。基本目標1(3)高齢者のスポーツ推進について意見はあるか。

江口委員 資料2の整理番号1-3-1はニュースポーツに限定した取組みの回数なのか。

事務局 ニュースポーツは年齢だけでなく障がいの有無にも関わらず行えるものを想定している。意図としては「だれでも参加できる」機会を増やしていきたいということで、その回数を増やしていく施策である。

西井委員 「高齢者へのニュースポーツ」とあるが、だれでもできるスポーツの機会を増やし、地域を盛り上げていくことを考えているということか。

小川委員 スポーツ推進委員が積極的に活動しており、目標は達成できると考えている。新しいスポーツを普及していくことで高齢者を含めてだれでも参加できる、おもしろいスポーツに取り組む人が増えていくだろう。

会長 これまでやったスポーツを否定するものではなく、新たなスポーツも含めて、スポーツに取り組む・参加する人を増やしていくということで、その機会について回数を増やしていくことを指標としている。

スポーツ振興課とスポーツ推進委員でこの5年間で取り組んだことはあるか。

事務局 第1回審議会資料で取組状況を報告しているが、市内10地区で実施できるよう、取組回数を増やしていくことを考えている。

小川委員 現時点では高齢者支援センターの依頼を受けて実施しており、主体的な取組みとしては十分に実施できていないが、依頼も増え、経験が蓄積されてきている。

渋谷委員 スポーツ推進委員の担う役割は大きいと感じる。

小川委員 普段仕事に従事しながらも精力的に活動している人もいる。

江口委員 この数値は高齢者支援センター単独で実施したニュースポーツの取組みも集計しているのか。センターで実施しているが計上されていない取組みもあるのではないか。

事務局 スポーツ推進委員が実施した取組みのみを計上している。

江口委員 市内の取組みという点では、高齢者支援センターの取組みもカウントできるとよいのではないか。

会長 基本目標1(4)障がい者のスポーツ推進について意見はあるか。

(仮称)町田木曽山崎パラアリーナはいつから使えるようになるのか。

事務局 PFI事業を想定しており、24年度に事業者公募、25年度設計施工、26年度中の供用開始を想定している。

会長 パラアリーナでの事業はどのようなものを想定しているのか。市が実施するものなのか

施設の管理者が実施するものなのか。

事務局 A S V ベスカドーラ町田の試合、パラバドミントンやブラインドサッカーなど町田市にゆかりのある競技を継続発展させるための事業などを想定している。

宮崎委員 「パラスポーツ」という表現もあるが、ユニバーサルスポーツという視点も検討してはどうか。審議会の中でも「健常者と一緒に行く」という視点も議論で出ていた。

事務局 日本財団パラアリーナ、横浜市障害者スポーツ文化センター（横浜ラポール）などパラスポーツに特化した施設も視察した。市としては健常者と障がい者のパラスポーツへの相互理解、共生社会の実現につながる施設として整備していきたいと考えている。

渋谷委員 健常者と障がい者がともに楽しめる施設ということであれば、支援について興味関心をもつ企業も出てくるのではと思う。

会長 名称の表現は事務局で検討してほしい。
基本目標2について意見はあるか。
スポーツ推進委員は何名になったのか。

事務局 2名増員し、計20名になった。

小川委員 スポーツ推進委員が取組主体として多く名前を連ねているので、推進計画・アクションプランについて、改めて各委員に共有していきたい。

会長 スポーツ推進委員の次世代の育成も、市と連携して取り組んでいけるとよい。
任命されて日が浅い人は迷いや不安もあるだろう。

事務局 毎月の定例会等でもフォローしていく。

渋谷委員 スポーツ推進委員の任期と報酬はどうなっているのか。

事務局 2年任期で月額報酬制である。

小川委員 依頼を受けて動くことと年5～6回小学生と保護者向けの事業を実施している。

事務局 加えて平日の活動や定例会がある。

渋谷委員 スポーツ推進委員になるにあたって、有資格者といった条件や人数の上限はあるのか。

事務局 有資格者もいるが条件ではない。人数の上限は20名である。

渋谷委員 1回なると辞めにくいものなのか。

小川委員 委員によって状況は異なるが、更新を希望する方もいれば非更新とする方もおり、なにか縛りがあるわけではない。

渋谷委員 経済団体の枠として任命するなどできれば、人材を確保することができるし、協力する市内事業者もいるだろう。報酬は事業者持ちでもよいと思う。

会長 推進委員は非常勤公務員というしくみだが、町田市独自で経済団体と連携した人材制度を創設してもよいかもしれない。
資料2の整理番号2-2-3で「まちだサポーターズの組織化」は具体的にどういう視点なのか。

小八重委員 昨年度からスキルアップ講習会を実施しており、人材育成を強化していく。

会長 改善点はあるか。

小八重委員 意欲のある人は多いので、活躍の場を充実してもらえるとよい。同時にサポーターズのスキル向上も重要だと考えている。

会長 研修の講師は市が行っているのか。

事務局 外部講師に委託している。昨年度はじめて実施したが、今後強化していけるとよいと考

えている。

会長

基本目標3について意見はあるか。

忠生スポーツ公園はどうなっているのか。どのくらいの広さなのか。

事務局

芝生広場など公園部分はオープンしている。後期計画ではスポーツ施設の整備を予定している。

地域の意向を調整しているが、基本構想ではソフトボール（子どもの軟式野球程度）やテニスコートやフットサル（2面程度）ができる規模感となっている。このほか、イベントスペースについても要望もあり、調整している。2032年のオープンを予定している。

会長

「みる」スポーツの視点でご意見はあるか。

FC町田ゼルビアのJ1昇格は「みる」スポーツの関心喚起につながるだろう。資料2の整理番号3-2-3パブリックビューイング「等」には何が含まれているのか。

事務局

オール町田の一体感やにぎわい創出が目的で、それに寄与する他の手段も想定している。

西井委員

シバヒロでも実施したイベントがパブリックビューイングか。

事務局

そうした取組みを想定している。

西井委員

とてもよいイベントだった。アイデアとして、ホームタウンチームのホームゲームのVIP席をふるさと納税の返礼品にしてはどうか。

事務局

ご意見をもとに庁内に確認する。

渋谷委員

スポンサーの観点から申し上げますと、VIP席は付加価値向上で利用するにあたってハードルがあがった経緯がある。賛否あると思うが価値のある席にできるとよいと思う。

西井委員

空いているのはもったいないと感じた。

会長

VIP席の価値については、ゼルビアでも考えてもらえるとうい。

基本目標4について意見はあるか。

エックス（旧ツイッター）の200件は、なんの件数か。

事務局

投稿の件数である。

会長

これが限界の目標値なのか。

事務局

他の指標があればご意見をいただきたい。

参考としてエックスをあげているが、Youtubeなど他のSNSやホームページも含めて考えている。今後の情報発信に関わる社会の動向等を鑑みながら取り組んでいきたい。

会長

プロモーションという点では、手法論でなく効果を考えていけるとよい。

FC町田ゼルビアがJ1となるとホームゲームの数も減る。PRについても考えていけるとよいだろう。

基本目標ごとに区切らず、意見があればいただきたい。

事務局

今日ではなくてもメール等で事務局に意見をいただきたい。

資料の赤字個所についての質問も受け付けたいと考えている。

西井委員

資料2の整理番号4-2-1の連携先の市有財産活用課、とはどういうことか。

事務局

庁舎内でのイベントや横断幕掲示などは、手続きの関係で連携先としている。広報課もプロモーションの点で連携しており、記載している。

会長

以上で議事を終わる。

3. 事務局から

事務局から次回の日程について説明を行った。

4. 閉会

以上